

第48回全国高等学校総合文化祭 ～清流の国ぎふ総文2024～

開催結果概要

文化祭推進事務局

1 清流の国ぎふ総文2024 開催概要

○開催期間

令和6年7月31日（水）から8月5日（月）まで（6日間）

○開催会場

県内15市町

（岐阜市、大垣市、高山市、多治見市、関市、中津川市、羽島市、土岐市、
可児市、山県市、瑞穂市、飛騨市、下呂市、関ヶ原町、大野町）

○事業の概要

【開会行事（総合開会式）】

日程：令和6年7月31日（水）

会場：長良川国際会議場

【開会行事（パレード）】

日程：令和6年7月31日（水）

会場：岐阜メモリアルセンター北ゲート～ぎふ清流文化プラザ南交差点付近

【部門別行事】

日程：令和6年7月31日（水）～8月5日（月）

規程部門：19部門

協賛部門：3部門

2 清流の国ぎふ総文2024への参加人数

- ・ 大会期間中、県内15市町で行われた開会行事（総合開会式及びパレード）、各部門別行事及び国際交流事業に、全国及び海外から約2万人の高校生が参加した。先催県と同程度の規模である。
- ・ 期間中、約5.4万人の観覧者が各会場を訪れた。
- ・ 総合開会式会場（長良川国際会議場メインホール）は、招待者や一般観覧者等約千人が参加した。また、パレード会場（岐阜メモリアルセンター北西の沿道）は、平日夕方の開催にもかかわらず、約6千人の観客が沿道を埋めた。

(1) 参加した高校生

区 分		参加者数
①	総合開会式	517人
	出演者	517人
②	パレード	1,595人
	出演者	1,595人
③	部門別行事	18,416人
	1 演劇部門	422人
	2 合唱部門	2,199人
	3 吹奏楽部門	3,292人
	4 器楽・管弦楽部門	2,503人
	5 日本音楽部門	883人
	6 吟詠剣詩舞部門	307人
	7 郷土芸能部門	1,497人
	8 マーチングバンド・バトントワリング部門	1,693人
	9 美術・工芸部門	492人
	10 書道部門	375人
	11 写真部門	380人
	12 放送部門	1,152人
	13 囲碁部門	300人
	14 将棋部門	564人
	15 弁論部門	88人
	16 小倉百人一首かるた部門	469人
	17 新聞部門	369人
	18 文芸部門	252人
	19 自然科学部門	697人
	20 特別支援学校部門	215人
	21 郷土研究部門	210人
	22 花いけバトル部門	57人
④	国際交流事業	46人
	リトアニア	16人
	ベトナム	15人
	韓国	15人
合 計		20,574人

(2) 観覧者数

(人)

		岐阜県 (R6) (第48回)	鹿児島県 (R5) (第47回)	東京都 (R4) (第46回)	和歌山県 (R3) (第45回)
観覧者数	人数	53,815	91,616	40,500	25,524

出典：各県記録誌

3 清流の国ぎふ総文2024の取組み

(1) 生徒実行委員会の活動

- ・ 県内の高校生から委員を募り、生徒実行委員会等を設置、大会PR活動や各業務の企画等を行った。(生徒実行委員数：93名)

※計23回の生徒実行委員会の開催、9月1日には解散式を開催

- ・ 生徒実行委員は5つの委員会(総合開会式、パレード、おもてなし、広報イベント、国際交流)に分かれ、企画、運営に従事ほか、先催県の大会視察、PRイベントの企画等を実施した。

<主なPR活動等>

生徒実行委員会が中心となり、機運醸成を図るため、以下の取組みを実施

- ・ 5圏域でカウントダウンボードを設置したほか、ショッピングモールや公共文化施設等においてPRイベントを実施した。
- ・ FC岐阜ホーム戦において、PRブースや野外ステージでのPRを実施し、ハーフタイムには生徒実行委員会によるスタジアムでのPRやハーフタイムキャラバンによるPR活動を実施した。
- ・ 株式会社ローソンと岐阜県産品(米粉・トマト)を使用したパン商品2品を共同開発した。
- ・ クリスピー・クリーム・ドーナツ・ジャパン株式会社と春日井製菓株式会社のコラボレーション企画に、生徒実行委員会のアイデアを採用したコラボ商品の販売が実現した。
- ・ 岐阜県商工会議所が進める、合名会社玉井屋本舗、株式会社緑水庵と生徒実行委員会との鮎菓子コラボ商品のデザインを考案した。

(2) 開会式での演出

- ・ 台本は、構想段階から生徒実行委員会の高校生が主体的に取り組み、開会行事総合プロデューサーの助言を得ながら、生徒自ら書き上げた。
- ・ 先催県の総合開会式ではパフォーマンス重視となっていた開催地発表を生徒実行委員会の高校生が視察し、岐阜県の総合開会式では、開催する2部門すべてが登場する演出となるよう構想を練った。
- ・ その結果、ステージパフォーマンス以外にも、録音・録画した素材の活用や新聞部門を中心に複数の部門が関わってオリジナル新聞「ぎふ総文新聞」を制作して披露するなど、すべての部門が主役となれる演出とした。
- ・ プロローグ及びエピローグの内容を生徒実行委員会の高校生が考え、自ら使用する映像の取材や出演、岐阜県ゆかりの有名人へのメッセージ動画の依頼などを行い、作り上げた。

(3) 協賛部門（本県独自で開催）の開催

- ・ 協賛部門として「特別支援学校部門」、「郷土研究部門」、「花いけバトル部門」の3部門を開催。
- ・ 「特別支援学校部門」では、特別支援学校の児童・作品等の展示や、ステージ発表が行われた。
- ・ 「郷土研究部門」では、歴史・考古部門において関高等学校、加納高等学校が最優秀賞を受賞した。
- ・ 「花いけバトル部門」は総文祭初開催であり、お成りの御覧部門にもなった。また、来年開催される「かがわ総文祭2025」においても、協賛部門として開催が決定している。

4 県勢の主な活躍

- ・ 弁論部門では、古田桃香さん（^{ふるたももか}岐阜北高等学校3年）が最優秀賞・文部科学大臣賞を受賞
- ・ 郷土研究部門の歴史・考古部門では、関高等学校、加納高等学校が最優秀賞を受賞
- ・ 将棋部門女子団体戦では、鶯谷高等学校（^{おおにしなる み}大西徳美さん、^{えんはつか}役初佳さん、^{ごとう いおり}後藤伊織さん）が準優勝・文化庁長官賞を受賞
- ・ 演劇部門では、長良高等学校が優秀賞（最優秀賞に次ぐ3校）受賞
- ・ 11部門、団体：16団体、個人：10人 が入賞

(1) パレード

グッドパレード賞：マーチングバンド 岐阜県立岐阜商業高等学校
美濃加茂高等学校
バトントワリング 美濃加茂高等学校

(2) 演劇部門

優秀賞・文化庁長官賞：岐阜県立長良高等学校

(3) マーチングバンド・バトントワリング部門

実行委員会特別賞：バトントワリング 関市立関商工高等学校

(4) 美術・工芸部門

奨励賞：田尻 侑（^{たじり ゆう}岐阜県立斐太高等学校）
小阪莉央（^{こさかり お}岐阜県立斐太高等学校）

(5) 書道部門

特別賞：牧野悠暉（^{まきの ゆうき}岐阜県立大垣工業高等学校）
堀内優妃（^{ほりうち ゆき}大垣日本大学高等学校）

(6) 写真部門

優秀賞：坂本 晶（^{さかもと あき}岐阜県立岐阜高等学校）
奨励賞：林 夢人（^{はやし ゆめと}関市立関商工高等学校）

(7) 放送部門

<アナウンス部門>

特別賞：遠藤 涼哉（^{えんどうりょう や}岐阜県立加納高等学校）

<朗読部門>

特別賞：篠原由菜子（^{しのはら ゆな こ}岐阜県立多治見北高等学校）

<ビデオメッセージ部門>

優秀賞：岐阜県立大垣工業高等学校

特別賞：岐阜県立加納高等学校

(8) 将棋部門

<女子団体>

準優勝・文化庁長官賞：鶯谷高等学校

(9) 弁論部門

最優秀賞・文部科学大臣賞：古田桃香^{ふるたももか}（岐阜県立岐阜北高等学校）

特別賞（基準弁士）：岩原七海^{いはらななみ}（岐阜聖徳学園高等学校）

(10) 自然科学部門

<研究発表：物理部門>

奨励賞：岐阜県立大垣北高等学校

<研究発表：生物部門>

奨励賞：岐阜県立岐阜高等学校

(11) 郷土研究部門

<研究発表：歴史・考古部門>

最優秀賞：岐阜県立関高等学校

岐阜県立加納高等学校

<研究発表：地理・産業部門>

優秀賞：岐阜県立関高等学校

<研究発表：公共・政策部門>

優秀賞：岐阜県立関高等学校・岐阜県立加茂高等学校

<ポスター部門>

最優秀賞：関市立関商工高等学校